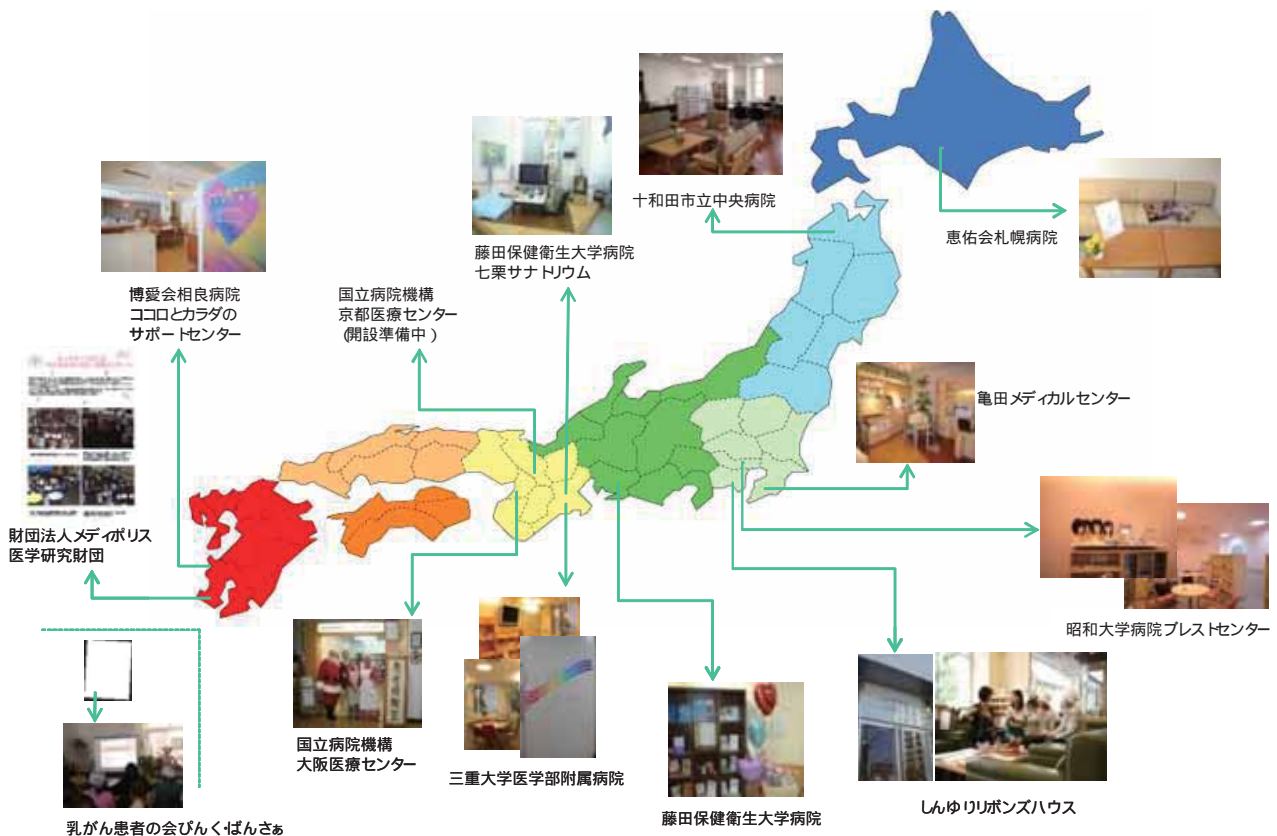


# キャンサーリボنزの活動 リボنزハウス・ネットワーク

## リボنزハウスとは・・・

がん患者さんの「治療と生活」をつなぐ、具体的な情報とケア体験を提供する場所。

医療者やヘルスケアに携わる多くの専門家の手によるプログラムを通して、患者さんがより自分らしく少しでも快適な生活を送れるよう、サポートしていきます。また、広く地域に開かれたスペースとして多くの人々が情報を共有し、支えあいを実践できる場になることを目的としています。各設置場所や地域の特性を生かしながら、立地に合ったソフトを展開しています。



Copyright© 2011 NPO法人キャンサーリボنز

## しんゆりリボンズハウスの活動紹介

- 開所時期 : 2009年4月
- スペース : 神奈川県川崎市新百合ヶ丘メディカルモリノビル1階  
(25坪、路面店)  
リボンズハウスのパイロットとしての役割
- オープン時間 : 月～金・第2土曜 11:00～17:00 (土日祝休み)
- スタッフ : 6名
- 利用状況 : 2010.1～2010.12 来場者数 1,505名  
(毎月平均125名、19日稼働)
- 設置内容 : 情報検索コーナー、カウンセリングコーナー、  
オープンスペース、ビューティーコーナー \*6月中に移転予定



## 特長 パイロットハウスとしてオープンし、いろいろなプログラムを試している

### がん患者さん向けテーマ別セミナーやサービス(美・向・食・働・共・知・域・楽)

#### 【美・楽(コサージュ作り)】



#### 【美(メイクセミナー)】



#### 【美(頭皮ケア)】



#### 【向(グループカウンセリング)】



#### 【食(料理セミナー)】



#### 【美(ネイルケア)】



### 地域の方向けイベント開催

#### 季節的なイベントや交流会を開催

- ・読書週間にあわせてブックフェアを開催。
- ・クリスマスには手作りのお菓子を持ち寄り、クリスマスソングやがん支えあいシンボルソング「あなたが大切だから」を全員で合唱するなど、がん患者さんや地域の方々と交流。地域の方から毛糸をご寄付いただき、患者さん、地域の方と一緒にひざ掛けを編み、全国のリボンズハウスに贈る活動も実施。



### 募金活動とキャンサーリボンズのPR

#### 第21回あさお福祉まつりに参加

川崎市麻生区では福祉活動に携わる当事者ボランティアグループ等の活動の告知と、福祉を身近に感じてもらうことを目的として毎年同まつりを開催。キャンサーリボンズは、ハンドマッサージや手編みのひざ掛け、コサージュなど手作り作品を提供し募金活動のほかPRに努めている。



## 他団体との連携、がんケアネットワーク作り

### 川崎市麻生区麻生図書館との連携

「がん支えあいのつどい」などを共催（2010年10月）

医療情報セミナーを共催したり、印象に残ったがんの本について読書感想文と一緒に募集する活動をしている。「印象に残ったがんの本」についての投票で、絵門ゆう子さんの著書「がんと一緒にゆっくりと」（新潮社）が選ばれたことがきっかけとなり、絵門さんのご家族と当NPO岡山副理事長との二人の対話形式によるお話し会が実現。



### 他団体との連携、ネットワーク作り

○患者さんグループにスペースを貸出したり掲示板による活動を紹介。

ピンクリボンロッキーの会、マンマチアー、マリアビバーチェ

などと連携。

ピンクリボンロッキーは、働き続ける女性患者さん向けに相談会をしんゆりりリボズハウスで開催（毎月第2土曜日）。

- 専修大学KSコミュニティ・ビジネス・アカデミーの受講生受入  
「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の研修先としてしんゆりりリボズハウスが受入
- 地域のコミュニティ情報誌などとの連携  
セミナーやイベントは地域の情報誌などに適宜情報を提供



### 地域の医療従事者との連携（2010年8月）

神奈川県立がんセンター看護師（医療リンパドレナージ資格保有）はりボズハウスの活動目的に賛同し、ボランティアでセミナー講師として参加。リンパ浮腫ケアセミナーを開催。

## ■ 院内体制

・病院内には設置されていないが、聖マリアンナ医科大学プレスト&イメージングセンターと連携して、本の貸出しやリボズハウス訪問客への告知のお願いなどで連携責任者とのミーティング（不定期）を実施

## ■ 困っていること・課題

しんゆりりリボズハウス認知度アップ

イベント等への集客

募金・PR活動

立地上（路面）の問題点

< 地域との交流はしやすい反面、認知度UPと集客が困難 >

## 対策

●リボズハウスニュースを神奈川県内や都内病院に配布

●リピーターによる口コミ

●地域メディアへの取材誘致

●地域イベントへの参加

## 恵佑会札幌病院 リボズハウスの活動紹介

|               | 日時                 | 時間  | 予約等                                   |
|---------------|--------------------|-----|---------------------------------------|
| 不定期開催         | 第3木曜               | 2時間 | 要予約。看護師、医療ソーシャルワーカーなどが常駐し、皆さんとお話します。  |
| 患者様・ご家族のみのご利用 | 平日9～17時<br>土曜9～15時 |     | 要予約。予約が入っていなければ当日の申込みも可能です（但し、土曜日は除く） |



## ■ 具体的な活動

- 2010年7月15日 ミニ講座「高額療養費制度について」
- 8月19日 ミニ講座「知っとくと便利、介護保険の仕組み」
- 9月16日 ミニ講座「身体障害者手帳のお話し」  
(対象：気管切開・永久気管孔や騒音障害などで言葉を話すのが困難な方、ご家族)
- 11月18日 乳がん患者さん交流会
- 2011年2月17日 大腸手術後の患者さん交流会

## ■ 課題

- 患者さん・ご家族・地域の皆様・職員の認知度が低い      ○イベント等への集客が弱い

がん患者さんの治療と生活をつなぐ  
チャリティコンサートのご報告

2011年3月21日（月）恵佑会札幌病院の開院30周年を記念し

「がん患者さんの治療と生活をつなぐチャリティコンサート」を  
札幌コンサートホールKitaraにて開催しました。

患者さんやご家族を中心に1600名を超える皆様にご来場頂きました。

皆さまより寄せられました募金は、がん患者さんの支援を目的として「特定非営利法人キャンサーリボンズ」「財団法人北海道対がん協会」「公益財団法人札幌がんセミナー」へ寄附を行ったほか、その一部を東日本大震災により被災された皆さまへの義援金とさせていただきます。



## 十和田市立中央病院 リボズハウスの活動紹介

- 開所時期 : 2009年6月21日
- スペース : 別館 1階医療情報センター内  
(リボズハウスの広さ: 149.81㎡、医療情報センター内相談室 20.36 ㎡)
- オープン時間 : 月、水、木 9:00～15:00 火、金 9:00～12:00
- スタッフ : がん相談員 2名(非常勤)  
図書ボランティア 15名(がん患者、家族、一般主婦、元会社員)
- 利用状況 : 2010年5月から12月まで 来場者数267名(月平均33.3名)
- 設置内容 :

- 情報検索コーナー  
毎月発行のがんサポート中心に  
各種のがん関連パンフレットの展示
- カウンセリングコーナー
- オープンスペース



### ■ 具体的活動 :

#### リボズハウス単独活動

- ・リボズハウスニュース展示
- ・ビューティメイク研修・下着相談会
- ・ケア帽子作成・ウィッグ相談
- ・アロマソルト作成、ハンドマッサージ

#### 患者会「くつろぎサロン」協同活動として

- ・がん医療情報交換会、体験談発表
- ・医学講演会
- ・院外活動(蔦沼周辺散策、死の臨床研究会参加)
- ・懇親会;「心温かくなる語りの会」「南部昔っ話」



### ■ 院内体勢 :

- ・スペースとして院内に設置されているががん相談員と図書ボランティアのみで対応している
- ・責任者とのミーティングの実施はこれから。(当地域でのリボズハウスの在り方・方向性をより明確にする)

### ■ 困っていること 課題

- 1 十和田市立中央病院リボズハウスに対しての市民・院内患者・職員の認知度が低い
- 2 イベント等への集客が弱い
- 3 PR活動・募金
- 4 行政とのコンタクトが希薄

### 対策

- 1 リボズハウスニュースを青森県内や地域病院に配布
- 2 リピーターによる口コミ
- 3 地域メディアへの取材誘致
- 4 地域イベントへの参加  
市の健康福祉まつり  
看護の日
- 5 募金・PR活動
- 6 がんケアネットワーク作り(他の団体との連携)

## 亀田メディカルセンター内リボンズハウスの活動紹介

- 開所時期 : 2009年7月
- スペース : 千葉県鴨川市東町929番地 亀田総合病院 K-タワー1F (約5坪)  
リボンズハウスの「美」の 카테고리에協力する形で、1階売店の「パオラ」内に「ヘアケアステーション」を設置
- オープン時間 : 月～金 9時～18時 (土日祝日休み)
- スタッフ : 常勤2人 (株式会社スヴェンソン社員)
- 利用状況 : 約330人 (ヘアケアステーションのみの来場者数)

2010年4月～2月末。月に約20日稼働。毎月平均約30人がご来場。

330人中64人がウィッグをご購入、他につけ毛、帽子、専用シャンプー類のご購入等。

### ■ 特長 :

- 治療前後のヘアケア相談のみにご来場される方も多く、仕切られた (個人のプライバシーが守られた) 空間で、個別のヘアケア相談に来られる方への対応が可能。

- 医療用のウィッグは「すぐに必要」という需要が高いことから、ご購入の場合、最短で即日納品が可能です。(製品の在庫状況により数日～10日ほどお時間を頂く事もございます。)



### ■ 最近の傾向 :

店舗内でウィッグのみならず、ヘアケアのことなら何でもお答えができるように、帽子やつけ毛の種類を充実させ、販売しており、大変好評。

この期間に来場者が約30%近く増えている。

不定期で「頭皮ケア相談会」「ウィッグの相談会」も少人数制でおこなっている。



### ■ 今後の課題 :

- ・ より一層の院内認知の拡大 (一人でも多くの患者様に知っていただくため) ヘアケア以外の「美」のジャンルでのアプローチ (下着、メイク等)

- ・ 個室を利用したサービスメニューの拡大によるQOLの向上



## 昭和大学ブレストセンター リボズハウスの活動紹介

### ■ スペース : 昭和大学ブレストセンター内

#### ● ブレストセンター概要

昭和大学病院ブレストセンターは、乳がんの診断、治療を目的に、様々な分野の専門医や、看護師、薬剤師が一堂に会して実践する、「患者中心の医療」を目指して設立。

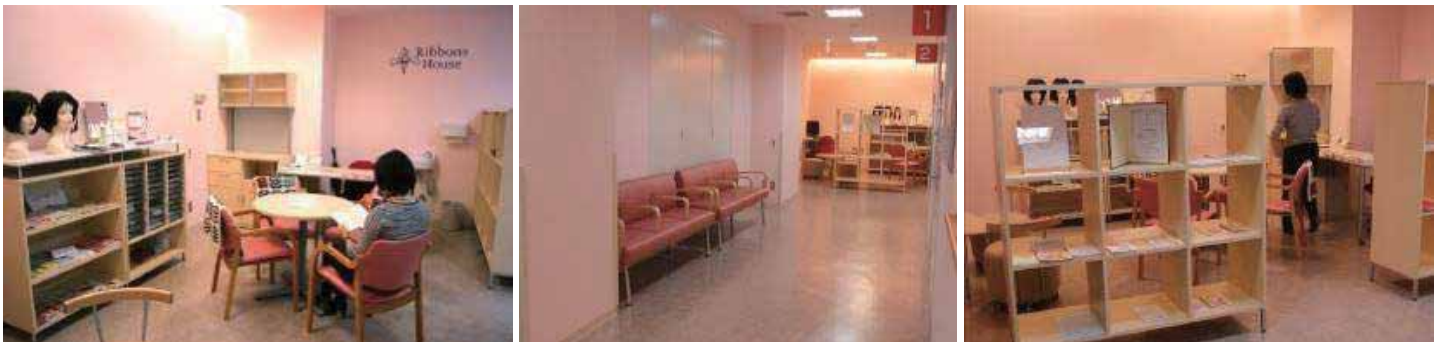
全ての診療をブレストセンター内で行えるよう、診察室や検査室などを集約されている。

また、明るい雰囲気のある待合室と、更衣室、パウダールームがあり、乳がんに関する情報収集や患者さん同士の交流もできる場として「リボズハウス」がある。



### ■ オープン時間 : 月～金 8:30～17:00 土 8:30～13:00

### ■ 設置内容



### ■ 活動内容 :

- ・ ミニセミナーを開催

#### ● 2月～3月のミニセミナー

|                         |                                             |
|-------------------------|---------------------------------------------|
| 2月10日(水)<br>10:30~11:30 | 「化学療法前後の頭皮ケア、シャンプー剤の選び方」<br>内田 徹さん 毛髪技能士    |
| 2月17日(木)<br>10:30~13:30 | 「爪を健康的に見せるネイルケア」<br>宮下智美さん 日本ネイリスト協会1級ネイリスト |
| 3月10日(木)<br>10:30~11:30 | 「化学療法前後の頭皮ケア、シャンプー剤の選び方」<br>内田 徹さん 毛髪技能士    |

藤田保健衛生大学病院 コミュニティールーム  
リボンスハウスの活動紹介

- 開所時期：2010年 3月  
リボンスハウスに認定
- スペース :藤田保健衛生大学病院 3号棟 7階  
緩和ケア病棟内
- オープン時間 :毎日終日
- 運営 :緩和ケア病棟スタッフおよび院内ボランティアが運営
- 利用状況 :緩和ケア病棟入院患者 (年間約180名 )とその家族
- 設置内容および活動



毎週水曜日 お茶会  
家族会 藤の会」(年2回)  
季節の行事

## 三重大学医学部附属病院 リボズハウスの活動紹介

- 開所時期 : 2010年1月
- スペース : 三重県津市三重大学医学部附属病院1階 16.8㎡
- オープン時間 : 月～金 10時～16時
- スタッフ : 事務職員1名常駐 三重大学がんセンター 患者支援部門
- 利用状況 : 利用者数 2,378名(月平均198名) 2010.1～12
- 設置内容 : 情報コーナー、なごみスペース

**特長** がん診療連携拠点病院内に設置したリボズハウスとして、がん治療を受けている患者さんやご家族の利用者が多い

### ■ 具体的な活動

#### なごみの場

##### がんに関するさまざまな情報提供の場

- ・がん関連冊子の配布
- ・がん関連図書(211冊)の貸出
- ・ウィッグや補整下着のパフレット配布
- ・インターネット検索可能なパソコンを設置
- ・脱毛された患者さん用の帽子を支給

##### がん患者さんやご家族の交流の場

- ・タオル帽子をつくろう会 (月1回)  
ボランティアさんの協力のもと、患者さん、ご家族が集まって、おしゃべりしながらタオル帽子を作成
- ・なごみサロン(月1回)  
がん患者さんやご家族が、日頃の思いや生活上の工夫などを安心して語り合い、支え合えることをめざした交流の場
- ・リラックスヨガ(月1回)

##### がん相談

緩和ケアチームによるがん相談会(毎月第3週の1週間)

##### 【相談担当】

- (月) 薬剤師
- (火) 緩和ケア医師
- (水) がん看護専門看護師
- (木) 管理栄養士
- (金) 医療ソーシャルワーカー



### ■ 課題

- ・活動のPR
- ・患者さんやご家族のニーズの把握
- ・医療用ウィッグ、補整下着の説明会
- ・各種活動の評価
- ・他職種との連携

## 藤田保健衛生大学 七栗サナトリウム コミュニティドーム 七栗リボンスハウスの活動紹介

- 開所時期 :2005年6月
- スペース :七栗サナトリウム 1階緩和ケア病棟内 117.88m<sup>2</sup>
- オープン時間 :毎日 7:00 ~ 22:00
- スタッフ :緩和ケア病棟スタッフが兼務
- 利用状況 :緩和ケア病棟入院患者 (年間約200名) 家族を中心に利用
- 設置内容 :

懇談スペース



キッチンスペース



オープンスペース



マッサージスペース



- 特長・活動 : 毎週水曜日 お茶会  
家族会 (年2回)  
季節の行事

お茶会



家族会



- 院内体制 :緩和ケア病棟内の設置であり、病棟スタッフ、ボランティアが運営
- 課題 :緩和ケア外来患者→地域がん患者のQOL向上の憩いのスペースへと対象を拡大

# 国立病院機構 京都医療センター リボズハウス（設置準備中） の活動予定

## ■ 京都医療センターのがん医療の概要

平成19年 地域がん診療連携拠点病院に指定

<平成20年度 がん医療の実績>

退院患者数 11,922人

がん患者数 3,049人（25.6%・・・4人に1人） 肺癌,胃癌,結腸癌,肝臓癌, 卵巣癌 等

外来患者数 296,314人 がん患者数 56,229人（19%・・・5人に1人）

外来化学療法室 9床 → 18床（平成23年度6月拡大）

看護専門外来（平成22年7月 1分野開始、平成23年6月 6分野に拡大）

緩和ケア病棟 20床（平成23年1月11日オープン）

## ■ リボズハウスの計画

目的：がん患者の「治療と生活」をつなぐ場所として、がんに関する情報収集やがん患者同士の体験談やお互いの不安・悩みを相談でき、がん患者に希望と夢を与えられるような各種取り組みを行っていきたい。

開所時期：平成23年6月予定

場所：京都医療センター外来管理診療棟3F

広さ：約54m<sup>2</sup>

オープン時間：月～金 10：00～16：30（土日祝休み）

スタッフ：2～3名（うち1名は職員）

## ■ 開催後の取り組み

設置内容： 情報検索コーナー、展示コーナー（ウィッグ、帽子等）、ビューティーコーナー

ミニコンサート・イベント開催：新中央診療棟（平成23年1月開院）4階の多目的ホール前や5階の緩和ケア病棟内ホールを利用して各種催しを行っていく

新中央診療棟4階



七夕コンサート



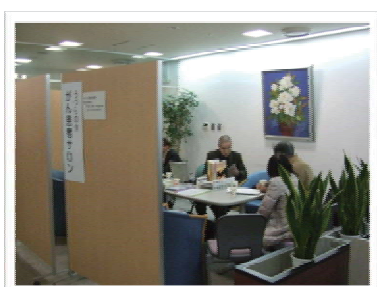
節分祭



## ■ 今後の検討事項

- ・「色」を考慮した家具等の配置
- ・院内体制の確立（運営にあたっての協力体制）
- ・ボランティアの確保
- ・がん患者サロンとの連携
- ・音楽療法士との連携

がん患者サロン



ボランティア  
アロマセラピストなど



音楽療法士との  
コラボレーション



# 国立病院機構 大阪医療センター リボズハウスの活動紹介

- 開所時期 : 2009年12月14日
- スペース : 大阪府大阪市中央区法円坂 国立病院機構 大阪医療センター (11坪: 37㎡)
- オープン時間 : 月～金 10時～16時(土日祝日休み)
- スタッフ : 常駐スタッフ2～3名 登録スタッフ人数25名(ボランティア)
- 利用状況 : 2010年1月～2010年12月 来場者数9,652名(毎月平均804名、20日稼働)
- 設置内容 : 医療図書・体験談、情報検索コーナー、映像視聴コーナー、オープンスペース、ビューティコーナー、ヘアウィッグ展示・試着コーナー、がん支えあい応援グッズコーナー



## 特長 患者情報室に「がんに特化したリボズハウス」を併設し活動

患者情報室：患者・家族がその疾病に関する情報を、本やインターネットで検索したり、更には体験談を聴いたりする部屋。

### ■ 具体的な活動

#### 地域の方向けイベント・セミナー開催

- ・ 当院での「がん医療」の紹介
- ・ 「笑いの効用について」講演と演芸&歌謡ショー
- ・ ビューティケア 講演と実演



第2回支えあいの輪「～美と笑いの効用～」in 大阪  
がんと向き合い支えあいの輪を広げる

#### リボズハウス勉強会開催

がん患者さんや家族の方が、生活するうえで困っている治療の副作用や、がんの痛み、腕のむくみ、リラックス方法、頭皮ケアなどの勉強会を毎月4回行っています。

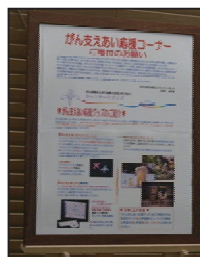
- がんサポートチーム主催：
- ・ がんの痛み・緩和ケア
  - ・ リンパ浮腫の予防
  - ・ 抗がん剤治療の種類
  - ・ リラクゼーション・栄養

- スヴェンソン共催：
- ・ 頭皮ケア・化学療法に伴う頭髮のケア相談
  - ・ ウィッグの選び方講座・ウィッグ何でも相談



## その他（募金、P R活動）

募金活動として、応援グッズの販売、P R活動として、リーフレット・ニュースの配布、ビューティ通信案内等の活動をしています。



## ■ 院内体制

リボンズハウスは患者情報室と連携（併設）、リボンズハウス訪問客に疾病に関する情報を、本やインターネットで検索したり、図書の貸し出し、体験談の閲覧など、情報提供や告知のお願いなどで連携している。

当院がんサポートチームやスヴェンソンの専門カウンセラーと連携、がん治療の副作用やがんの痛み、頭皮ケアなどの勉強会で連携している。

リボンズハウスはボランティアにより運営、ボランティア運営委員会、ボランティア支援室と医療サービス向上委員会とも連携している。

乳がん患者会と情報提供や告知のお願いなどで連携している。

## ■ 困っていること・課題

大阪医療センター リボンズハウスの認知度アップ

イベント、セミナー等への集客

募金・P R活動

しんゆり近隣だけでなく、地方でも小規模な分科会を開催してほしい

## 対策

- キャンサーリボンズリーフレット、リボンズハウスニュースなど院内の主要な場所にも配布
- 患者さん・院内患者会やボランティア等への口コミでの集客
- 患者情報室のサービスを生かした募金・P R活動
- 新しい応援グッズの開発
- カバーメイク（基礎化粧品）、ネイルケア、インナー・靴の選び方など

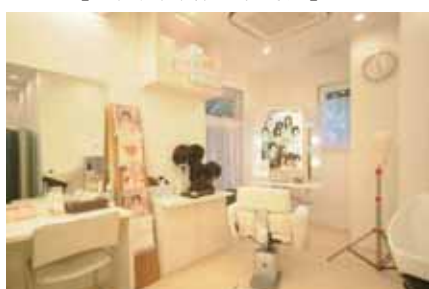
## ココロとカラダのサポートセンター リボنزハウスの活動紹介

- 開所時期 : 2009年4月
- スペース : 鹿児島市松原町3-31 相良病院2階 (63.6坪)
- オープン時間 : 月～金 10時～16時
- スタッフ : 常駐スタッフ5名 登録スタッフ人数18名
- 利用状況 : 約50名
- 設置内容 : メディケアショップ、カフェ、ヘアケアステーション、ヒーリングスペース、情報ライブラリー、スタディールーム

【メディケアショップ】



【ヘアケアステーション】



【カフェ】



### 特長 社会復帰した体験者によるサポート活動

#### メディケアショップ



##### 体験者の経験を生かしたケア用品



**手作りパッド・ブラジャー**  
一人ひとりの胸の形に合わせて、自然なリズムを演出できるのは手作りならではの、星形のパッドは、患部に圧をかけることで術後の張りをケアします。



**ニットキャップ・帽子**  
化学療法中のデリケートな頭皮も優しく包み込むように、頭皮に熱れる裏地には綿カシメを使い、縫い目が目立たないよう工夫されています。お好みのデザインをお選びください。

#### カフェいずみ



##### 外来フロアでの患者さんへのお茶サービス



#### ヒーリングスペース・スタディールーム

入院中のサポートプログラム  
(ヨガ・ストレッチ・ピラティス)



1DAYレッスン  
(アロマ・カラーセラピー など)



情報ライブラリー  
(図書・インターネット)



■ 院内体制・・・医療者と日常的に協働して患者支援を行う



専門スタッフによるサポートプログラム  
講師：管理栄養士・リンパドレナージュセラピスト・薬剤師・医師など



～入院中のあなたへ～  
看護部スタッフも同席



リンパ浮腫用下着などの開発  
リンパドレナージュセラピストや理学療法士と体験者が協力

■ 困っていること・課題

もっと社会に対してリボンズハウスの認知を広げ利用者数を増やす

患者さんへの細やかなサポートと正しい情報の提供

対策

ヘアケアステーションをリボンズハウスの広報に繋がる拠点にする。

体験者コーディネーターとしての研鑽を積む。

社会に向けた啓発活動  
1000枚のピンクリボンキルト



ピンクりんごTachi



体験者スタッフの学習会



## ピンク・ぱんさぁリボンズハウスの活動紹介

- 開所時期 : 2010年10月30日
- スペース : 沖縄県浦添市城間 マンション波平1階 15坪
- オープン時間 : 月～金 13時～16時(土・日 祝日休み)
- スタッフ : 常駐スタッフ人数: 1名 登録スタッフ人数: 2名 スタッフの職種: 患者
- 利用状況 : (2010.11～2011.2) 68日稼動 来訪者数191名



### ■ 設置内容 :

\* ピンクリボン活動支援自販機



\* 活動紹介パネル  
\* 乳がん関連本の紹介コーナー  
\* 手作りタオル帽子コーナー



\* 懇談(研修)スペース、鏡、貸しBox



\* 相談コーナー



\* フィットिंगスペース



**特長** 沖縄県内の乳がんを患ったすべての女性のためのサロン。  
病院のわくを越え、共に学び励まし合い、情報交換のできる場所。

### ■ 具体的な活動

ファシリテーター養成講座 10.17



乳房再建 現在 未来 2.6



適正体重をKeepする栄養講座 2.17



## ■ 資金造成・PR活動

沖縄県女団協 フェスタに参加



ピンクリボン沖縄



## ■ 他団体との連携・ネットワークづくり

琉球ゴールデンキングスとのPR活動



老舗新垣製菓とのPR活動



## ■ 院内体制・・・院内設置ではない

- ・琉球乳腺倶楽部
- ・琉大病院支援センター

合言葉は 「来年のWith you ~ OKINAWAで会いましょう！」

特別講演



全県から集う患者懇親会



カチャーシー



## ■ 困っていること 課題

- ・スタッフ不足 → 中心者の育成・研修会の実施
- ・資金面での安定 → 支援自販機の増設・寄付・助成金
- ・NPO法人化